大阪市水道基幹管路耐震化PFI事業　令和７年度モニタリング報告書（概要版）

モニタリング結果の概要

- 令和7年度事業計画に対して、完成路線数及び布設延長の実績は下回ったものの、事業全体の進捗に支障のないよう調整されており、事業契約書及び要求水準書等に基づき事業が進められている
- 要求水準の達成状況については、必要書類が適切に提出され、要求水準の未達となる事項は発生しなかった
- 引き続き、全体の事業進捗が計画的に進められ、工事及び業務の品質が確保されるよう、モニタリングを実施していく

1　令和７年度事業量の実績

- 実績は完成路線数１路線、完成路線延長0.41km、これらに施工中路線の完成部分を含む布設延長は0.55kmとなった
- 他企業体との協議、地元調整、試験掘結果を踏まえた設計内容の見直し等により、設計確定までに時間を要し、工事着手が遅れたため、各事業量の実績が計画を下回っているものの、事業開始後の実績を踏まえて工程の見直しが行われ、計画業務や設計業務の先行着手等により、設計業務に必要な期間を確保しながら、全体工程に影響のないよう調整されていることを確認した

令和７年度事業量		第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	計
完成路線数（件）	計画	4	0	3	4	11
	実績	0	0	0	1	1
完成路線延長（km）	計画	0.78	0	0.55	1.22	2.55
	実績	0	0	0	0.41	0.41
布設延長（km）	計画	0.43	1.34	1.44	1.18	4.39
	実績	0.15	0.19	0.17	0.04	0.55

※ 布設延長は、施工中路線の完成部分を含む

2　要求水準等の達成状況

■　業務モニタリング

計画業務

- 設計業務及び施工業務の実績が計画を下回っているものの、事業期間内にすべての対象管路の更新が完了できる状況を確認した

運営業務、設計業務、施工業務及び施工監理業務

- 要求水準書に定める事項が実施されていることを確認した

■　事業運営モニタリング

会社運営業務等

- 事業量の実績が計画に対し下回っていることが報告されているが、適宜調整を行い、課題解消のための措置が取られていることを確認した
- 事業報告書の一部記載内容について確認を要する事項が認められたが、市の意見を踏まえた修正等が行われ、適切に提出されていることを確認した

財務

- 計算書類（貸借対照表、損益計算書等）、キャッシュ・フロー計算書及び重要な経営指標等を確認した結果、財務状況の健全性に問題ないことを確認した

■　事業者の提案により実施した取組

- 管路更新工事に対する理解促進のため、工事現場近隣住民を対象とした工事現場見学会の開催や、工事現場の映像を使用した広報用PR動画を作成し、事業者HPに掲載されていることを確認した
- 地下埋設物把握の新技術である地中レーダー探査の一部工事での試行や、技術力確保のための技術研究会の開催を確認した

大阪市水道局
Osaka Municipal Waterworks Bureau